

令和8年度 第1回 学校運営協議会(定時制部会) 議事録

校名	大阪府立大手前高等学校
准校長名	渋谷 雅宏

開催日時	令和8年6月30日(火) 15:30~16:30
開催場所	大阪府立大手前高等学校 会議室
出席者(委員)	平野 智之、高木 学、佐藤 道廣、平田 和也、白石 毅、堀 剛士
出席者(学校)	渋谷 雅宏、中村 有希、川端 俊範、山本 蒼一郎、砂田 純平、鈴木 俊哉、櫻井 俊介、佐藤 知弘、宮出 博実
傍聴者	なし
協議資料	令和8年度学校経営計画及び学校評価、 令和9年度使用教科書選定一覧表及び使用教科書選定理由一覧表
備考	なし

議題等(次第順)

- 1 今年度の学校の状況
- 2 令和8年度学校経営計画及び学校評価について
- 3 令和9年度使用教科書の選定について
- 4 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 令和8年度学校経営計画及び学校評価について
「承認」
- 2 令和9年度使用教科書の選定について
「承認」
- 3 その他(委員の意見・質問等)
 - ・昨年度、もう少し席が近くなる方がよいのではないかとお伝えしたが、今年度は早速座席のレイアウトを変えて、先生方との距離が近くなったことで顔をみながら話せるようになった。活発な議論を期待します。
 - ・就職活動について、実際の職場体験や見学などはどのように行っているのか。
 - ←実際に会社に行き見学をする機会が多いです。また合同企業説明会で企業の担当者の方と、話す機会もあります。インターンシップもなるべく活かしたいと思います。インターンシップは選考ではないですが職種について深くあの学べる機会であり、ミスマッチから生じる早期

退職が多い中で高校生の就職課題を解決するうえでもインターンシップを推奨している企業も増えています。

・教員の体制として、何歳から何歳で何名ぐらいいるのかと。生徒さんが80代や60代の方でも在籍していると聞いたが、先生はどのような感じですか。

→20代、30代、40代は比較的バランスよく同じぐらいの人数かなと思います。50代はもう少し少ないです。60代は今はいないです。管理職も含めて18名です。事務職を含めると20名です。どちらかというと、中堅の先生方が多い。今年は初任の先生が一名と講師で新しく若い先生が一人入られました。

・学校経営計画において、全体的に目標達成率が高いが、一方で、学校教育自己診断(教員回答)のところで40%とか50%とか低いところがあるがどう分析されているのか。

→本校は生徒一人一人に非常に細かい対応をしてますので、そのあたりでなかなかすぐに成果が上がらないものかなと思います。生徒本人だけではなく家庭の情報まで把握して対応されている。そういうことですぐに成果上がらない中で、いろいろジレンマも持たれてる感じはしています。生徒数は少ない学校ですが、教職員の人数も少ないため様々な仕事を同時に並行してやらないといけないため、仕事量が増えてしまうのではないかと感じています。

・定時制の生徒さんたちに、いかに出席させるか、何か工夫されていることがありましたら教えてください。また、不登校や引きこもりの生徒の支援というのは、具体的に何かヒントがあれば教えていただければと思います。

→出席に関しては、入学前は毎日登校することができなかった生徒が本校に来てからは体調不良以外はほぼ毎日登校できている生徒が複数おります。生徒会に入って活動しはじめたことで学校でも頑張ろうという思いが芽生えたようです。また別の生徒で、メンタルの波があり一年生の時は週2回ほど休んでいた生徒が、昨年度からしんどいときに休憩させてほしいということで、5階のコモンスペースで休憩をとるようにしたところ、初めは何時間も休むことがありましたが、2時間だけから1時間だけにしてみようかとステップアップすることができました。また、SCと毎回面談し発散させたり、保健室で休むようにしようというふうに少しずつ時間を狭めて、集団の中に入るように促したところ、今年度は二度保健室に行っただけで学校に来て頑張れています。大切なことは、生徒のしんどさを認め無理なくステップアップし、成長させることで教室に戻っていけるようにサポートできたことだと思います。

・意見として、数字はわかりやすいし大事な部分もあるかもしれないが、実社会に出ると単にその部分だけではない大切な部分がある。それは信頼であったりとか気持ちの部分であったりとか目に見えない部分が感動を呼ぶこともある。数字として報告をしなければならない部分はあると思うが個人的には、それ以外の部分をこの協議会でも認めていければと思います。

次回の会議日程

日時	令和8年11月13日(金)17:00~19:00(予定)
会場	大阪府立大手前高等学校 1階大会議室 及び 3・4階HR教室等